

OECD「より良い暮らし指標」よくある質問（日本語仮訳）

[>> 指標データをダウンロード](#)

- 「より良い暮らし指標」のポイントは何か
- なぜ 11 項目で幸福度を測るのか
- 指標が対象としている国はどこか
- どの国がトップか
- 男女をどのように比較するのか
- なぜ自分の指標を比較するか
- このウェブサイトから他に何がわかるか
- BLI の基になっている指標は何か
- 「より良い暮らし指標」はなぜ社会的に意味があるのか
- データの出所はどこか
- BLI は地域レベルの詳細情報を提供しているか
- 社会的格差はどのように BLI に取り込まれているか
- 利用者自身にとって重要な項目が BLI に含まれていない場合はどうするか
- 調査のポイントは何か
- BLI の時系列の比較は可能か
- 過去のバージョンの BLI の基礎データはどこから入手できるか
- ウェイト（重み、重要度）はどのように割り当てられているか
- 各指標はどのように集計されているか
- 指標はどのように標準化されているか
- 格差はどのように計算されているか
- 帰属値とは何か

* 原文はこちら <http://www.oecdbetterlifeindex.org/about/better-life-initiative/>

「より良い暮らし指標」のポイントは何か

重要なのは富だけか、それとも、仕事と仕事以外の生活のバランスなど他のことに目を向けるべきかなど、最近、社会の幸福度（well-being）を測ることについて盛んに議論されるようになってきました。「より良い暮らし指標」（Your Better Life Index＝BLI）は、市民がこの議論に参加し、より多くの知識や情報に基づいて、私たちの生活の全てを方向づける政策決定プロセスに関与できるようにすることを狙いとしています。

なぜ 11 項目で幸福度を測るのか

1961 年の創設以来、OECD は市民のためにより良い暮らしを実現するためのより良い政策立案を行えるよう各国政府を支援しており、近年は幸福度の測定に関する議論に積極的に参加しています。この経験を踏まえ、これらの 11 項目は、OECD が幸福に必要な不可欠と特定している物質的な生活条件（住宅、所得、雇用）と生活の質（社会的つながり、教育、環境、市民参画、健康、主観的幸福、安全、ワークライフバランス）を反映しています。

各項目は 1 つから 4 つの特定の指標をもとにしています。例えば、「雇用」の項目は就業率、個人所得、長期失業率、雇用安定度という 4 つの個別指標に基づいています。各指標について、男女の結果の比較や、社会的・経済的地位が結果にどの程度影響するかなどを見ることができます。

今後、現在の物質的な生活条件と生活の質を反映するこれらの指標に、幸福の長期的な持続可能性を示す指標が加えられる予定です。

指標が対象としている国はどこか

この指標が対象としている国は、世界の大半の先進国と多くの新興国から成る OECD 加盟 37 カ国、そしてブラジル、ロシア、南アフリカです。今後、これらの国以外の OECD の主要パートナー国（中国、インド、インドネシア）も対象とされる予定です。

どの国がトップか

それはあなた次第です。OECD は国をランク付けしていません。「より良い暮らし指標」は、利用者自身が、11 項目それぞれが幸福にどの程度寄与し得るかを決められるように設計されています。例えば、環境より住居の方が重要だと思う人は、Your Better Life Index の指標ツールバーの各項目の○の位置を変えるだけで、すぐに各国比較をすることができます。自分の指標を作ったら、「Compare」をクリックして自国や外国の他の人々の指標と比較したり、「Share this Index」をクリックして自分の指標を友人と見せ合い、より良い暮らしに関する議論を深めたりすることができます。

男女をどのように比較するのか

BLI の全 11 項目を考慮すると、幸福度の男女差はわずかです。しかし、雇用や収入のように、男性が女性を大きく上回っている項目もあります。逆に、健康、教育、社会的つながり、主観的幸福では、女性が男性を上回っています。

1. **男女の BLI は国別平均の BLI と比較できるか。**男女の BLI は、国別平均の BLI に含まれているのと同じ指標を用いて計算されていますが、標準化されている値が異なるので、BLI スコアは直接比較することはできません。
2. **男女の BLI スコア間の「花」はどう解釈すべきか。**男女の BLI 数値の間に示されている花は、単に男女のスコアの算術平均であり、国別平均の BLI とは一致しません。この花は、利用者が各項目に割り当てている比重とこれが男女の BLI 数値にどの程度影響しているかがわかるようにするために示されているものです。

なぜ自分の指標を比較するのか

指標を作ると、その都度、誰でも利用可能なデータベースに入り、自分の BLI を世界中の人々の BLI と比較したり、最も重要な問題に関する自分の見解を誰が共有しているかを見たりできるようになります。それには、自分の国、性別、年齢層を入力して、自分の指標を投稿し、比較するだけです。もちろん、自分の指標を友人と共有したり、自分のウェブサイトに掲載し、他の人にその人自身の指標と比較するよう促したりすることもできます。長い目で見ると、これは、OECD が、世界各国の市民が良い暮らしの中身についてどう考えているかの全体像を把握する手助けにもなります。

このウェブサイトから他に何がわかるか

たくさんありますが、主な情報分野は次の 3 つです。

1. **指標(Index):**「より良い暮らし指標」のメインページでは、幸福度に関する全 11 項目の国別の総合結果の比較や男女別の結果を見ることができます。自分の指標を作り、他の人の指標と比較したり、共有したりすることもできます。
2. **項目(Topics):**ナビゲーションメニューの「Topics」をクリックすると、全般的な説明と各国

の状況に関する注記や模範事例を見ることができます。

3. **国(Countries):**各国の「花」(またはナビゲーションメニューの「Countries」)をクリックすると、その国の全体的な解説と全 11 項目それぞれについてその国がどのようなことを実践しているかについて説明を見ることができます。

BLI の基になっている指標は何か

現時点では、BLI の 11 項目はいずれも 1 つから 4 つの指標が基になっています。各項目内では、その 4 つの指標は同じ加重値で平均されています。

[指標と基礎データの全リストをダウンロード](#)

指標は、妥当性（表面的妥当性、深度、政策的妥当性）やデータ品質（予測的妥当性、対象、適時性、国際比較可能性など）といった多くの統計的基準に基づき、かつ、OECD 加盟国と協議して選ばれています。これらの指標は、特に国際比較を行う場合には、幸福という概念を測る良い目安となります。他の指標も徐々に各項目に追加されていくことになっています。

しかし、幸福の定義や測定に、その背景や歴史にふさわしい側面（精神性など）を追加した方がよい国や文化もあります。したがって、OECD の枠組みは普遍的かつ全人類に当てはまる幸福の諸側面を含むものですが、良い暮らしの中身に関するその国特有の情報を追加できる各国の類似の取り組みによって補完した方が良いでしょう。

「より良い暮らし指標」はなぜ社会的に意味があるのか

幸福は、多角的な測定を行うべき多角的な概念です。しかし、極めて複雑な概念から 1 つの物語を抽出するのは非常に難しい場合もあります。複合指標の利点は、幸福のパターンの全体像を理解しやすい形で示すことができる、ということです。

BLI で用いられている幸福の 11 項目は、比較する観点から最も適切に幸福度を測る方法についての理論、慣行、協議に基づいて選ばれています。

この点の詳細については関連文献「[How's Life? – Measuring Well-Being](#)」をご覧ください。

統計的な観点からすると、BLI は複合指標を作成するための模範事例に依拠し、様々な方法論的推定に耐えるものとなっています。

データの出所はどこか

データは主に OECD や国民経済計算、国連統計局、各国統計局などによる公的なデータです。いくつかの指標については、世界 140 カ国以上で定期的に世論調査を行っているギャラップ社のギャラップ世界世論調査（Gallup World Poll）のデータに基づいています。BLI の指標の 80%以上はすでに OECD によって公表されているものです。

この点の詳細については関連文献「[How's Life? – Measuring Well-Being](#)」をご覧ください。

社会的格差はどのように BLI に取り込まれているか

BLI の一部の指標については、項目別や国別のページで社会的格差に関する情報が示されています。この情報は、社会格差の比率を通して、社会経済的地位が高い人々の結果と低い人々の結果を比較することによって示されています。社会経済的地位とは、BLI の様々な指標のための社会経済的内訳

についてデータが入手できるか否かに応じて、所得水準か学歴のいずれかを指しています。所得の場合、社会経済的地位が高い人々とは、その所得が上位 20%のグループに属しているということ、社会経済的地位が低い人々とは、その所得が下位 20%のグループに属しているということと定義されています。学歴については、社会経済的地位が高い人々とは、高等教育の学位を持っている人々のことで、社会経済的地位が低い人々とは、初等教育の学歴を持っている人々と定義されています。

利用者自身にとって重要な項目が BLI に含まれていない場合はどうするか

BLI の項目は、世界中の多くの国や文化における幸福の必要不可欠な要素に合致するよう選ばれています。しかし、利用者の生活にとっては重要ですが、BLI には含まれていない事柄（宗教、子どもの有無など）があるという場合も考えられます。そのような場合は、自分の BLI を投稿する前に出てくるコメントボックスを利用し、将来的に BLI に取り入れてほしいと思う追加的な項目を OECD に知らせてください。データ面で可能な場合、OECD はその情報を考慮します。サイトの [contact page](#) からメッセージを送ることもできます。

調査のポイントは何か

調査には極めて重要な役割が 2 つあります。1 つは、広く共有可能な、BLI 利用者とその選好に関する、より包括的なデータセットを構築することです。もう 1 つは、BLI 利用者がそのように回答している理由を理解すること、言い換えれば、生活上最も重要な事柄に関する見方が生活環境や幸福の 11 項目に関する満足度に左右されるかどうかについて理解を深めることです。例えば、調査によって、医療制度に割り当てられている高い重要性が特定の国の医療制度の客観的な質と関連しているかどうかを理解することができます。この調査に対する回答のおかげで、OECD は政策決定者が市民生活の向上に向けて注力すべき優先事項を助言しやすくなります。

BLI の時系列の比較は可能か

現在のところ、BLI はまだ手法を微調整している段階なので、時系列で比較することはできません。さらに、BLI で利用されている指標の多くはすぐに変動するわけではないので、時間の経過とともに起こる進展や後退の実際を評価できるようになるまでにはさらに数年を要します。

過去のバージョンの BLI の基礎データはどこから入手できるか

2017 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

2016 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

2015 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

2014 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

2013 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

2012 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

2011 年の基礎データは [こちら](#) からダウンロードできます。

ウェイト(重み、重要度)はどのように割り当てられているか

BLI を構築するウェブ・アプリケーションには、最初の時点でウェイト（重み、重要度）の初期値が必要です。簡便化のため、これらのウェイト全項目についてグレード 1 に設定されています。これらの重みの初期値は、各項目の相対的重要性に関する OECD の見解を示すものではありません。

ウェイトは、自分の BLI を構築する利用者によって割り当てられるものです。そのためには、利用者は各項目を 0（重要ではない）から 5（非常に重要）まで評価しなければなりません。各項目に与えられた数値は、各項目に与えられたグレードを全項目に与えられたグレード評点の合計で割ることによって、ウェイトに変換されます。例えば、ある利用者が健康と教育を 5、他の全ての項目を 3 と評価すると、健康と教育のウェイトは 5/37(約 13.5%)、他の全ての項目のウェイトは 3/37(約 8.1%) になります。全てのウェイトを合計すると 100%になります。

各指標はどのように集計されているか

幸福の各項目は 1 つから 4 つの指標によって測られています。各項目内では、指標は同じウェイトで平均されています。例えば*、教育は学歴と読解力で測られています。したがって、教育のスコアは以下により与えられます。

$$\frac{\text{学歴のスコア} + \text{読解力のスコア}}{2}$$

* 実際の教育スキルの指標は、読解力に加え、科学的リテラシー、数学的リテラシーの 3 要素をもとに算出されています。

指標はどのように標準化されているか

BLI には全く別の単位（ドル、年など）によって表示される多くの指標が取り込まれています。別の単位で表示される値を比較、集計するには、値を標準化する必要があります。この標準化は、指標の原値を 0（考え得る最低の結果）～1（考え得る最高の結果）の数値に変換する標準的な計算式に従って行われます。計算式は以下のとおりです。

$$\frac{\text{変換する値} - \text{最小値}}{\text{最大値} - \text{最小値}}$$

指標が幸福の負の要素（失業など）を測る場合には、次の計算式が用いられます。

$$1 - \frac{\text{変換する値} - \text{最小値}}{\text{最大値} - \text{最小値}}$$

格差はどのように計算されているか

1. 男性と女性の BLI はどのように計算されているか

男性と女性の BLI は、国別平均値を指すベースラインの BLI と同じ手法で計算されています。男性と女性の BLI には国別平均の BLI と同じ 24 の指標が含まれています。これらの指標の大多数は性別に固有のもの、すなわち、男女別に利用可能なものです。したがって、これらの性別固有の指標はそのまま男女の BLI スコアの計算に用いられています。一部の指標（住宅など）については男女に分けることができないため、国別平均値が男女両方の BLI の計算に含まれています。

男女格差比率は、BLI の全 11 項目について幸福度の性差を示しています。男女別の内訳が利用可能な各指標については、この比率は男女間の最大値を男女間の最小値で割ることによって計算されています。

$$\frac{\text{最大（男性の値, 女性の値）}}{\text{最小（男性の値, 女性の値）}}$$

この指標が 1 の場合は男女が同等であることを、1 より大きい場合は男女格差が存在することを示します。

2. 社会的格差比率とは何か、どのように計算されているか

社会格差比率は、BLI の全 11 項目について幸福度の社会経済的格差を示しています。社会経済的に分解できる各指標については、この比率は社会経済的地位が高い人々と低い人々との間の最大値を社会的地位が高い人々と低い人々との間の最小値で割ることによって計算されています。

$$\frac{\text{最大（社会経済的地位が高いグループの値, 社会経済的地位が低いグループの値）}}{\text{最小（社会経済的地位が高いグループの値, 社会経済的地位が低いグループの値）}}$$

帰属値とは何か

ごく少数の指標（データ全体の 5%未満）については、BLI の計算に用いられている値は帰属値をもとにしています。帰属値とは、特定の統計手法を通じて行われる欠損データの推計値のことです。これらの帰属計算は BLI の結果に重大な影響を及ぼしませんが、推定値は慎重に取り入れる必要があります。

製作者クレジット

このサイトはベルリンにある [Raureif GmbH](#) の [Moritz Stefaner](#), Frank Rausch, Jonas Leist, Marcus Paeschke, Dominikus Baur and Timm Kekeritz によってデザイン及び製作されました。